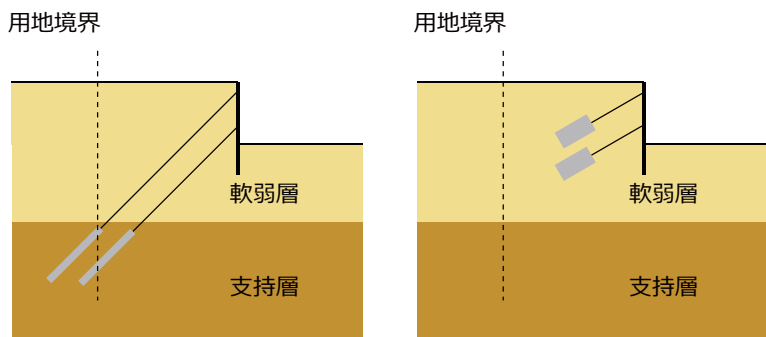


## 技術開発の背景



従来のアンカー

拡径型アンカー

従来のアンカーと拡径型アンカーの比較

都市部などで掘削道路を建設する場合、山留め壁を構築して支保工としてアンカーを併用します。この際、アンカーを用地内で施工しなければならないため、浅い位置の軟弱な地盤にアンカーを定着する必要があります。このため、軟弱な地盤において大きな引抜き抵抗を発揮するために、地盤内でアンカーの先端部分を拡大させる拡径型アンカー工法を共同研究により開発しました。

土木研究所が開発にかかわった工法には次のものがあります。

## スプリッツアンカー工法

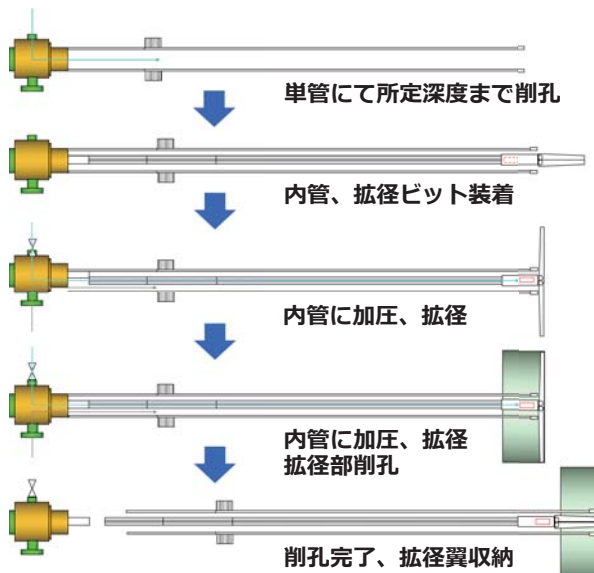
機械拡径方式の拡孔型アンカーです。拡径ビットを開いて空間を形成し、グラウトを注入してアンカー体を造成します。

径の大きなアンカー体の支圧抵抗と摩擦抵抗により大きな引抜き抵抗を得ることが可能です。そのため軟弱な地盤においても定着可能なアンカー工法です。



スプリッツアンカー用拡径ビット

アンカー体



施工手順の概要

## CPG アンカー工法

コンパクショングラウチング (CPG) 工法の手法によって地盤中に加圧注入することで構成されるグラウト体と、その先端に同様の手法によって削孔径 (165mm) 以上の径に膨張させることのできる袋材を有した耐荷体を配置するアンカー工法です。

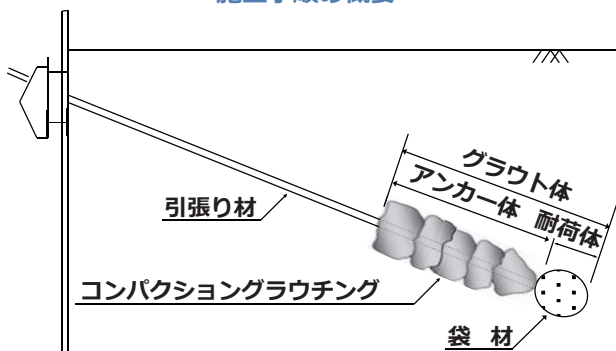
グラウト体により、周辺地盤の摩擦抵抗・支圧抵抗が期待でき、従来に比べて大きな引抜き抵抗が発揮されます。



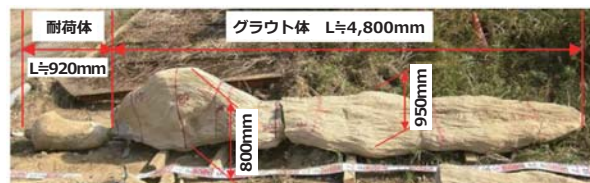
削孔

アンカー材挿入

グラウト注入



CPG アンカー工法の概要



アンカー体

共同開発者 スプリッツアンカー  
CPG アンカー

日特建設 (株)  
三信建設工業 (株)  
大日本土木 (株)  
岡三リビック (株)

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-10-6  
〒111-0052 東京都台東区柳橋二丁目 19番 6号 柳橋ファーストビル7F  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6丁目 16-6  
〒370-0841 群馬県高崎市栄町 15-9

TEL : 03-5645-5116  
TEL : 03-5825-3700  
TEL : 03-5326-3811  
TEL : 027-310-6210